

しろくま通信



先々週から福岡市東区箱崎にある『宮崎宮』について書いています。神功皇后は啓示を受け、朝鮮半島の新羅（しらぎ）出兵を決意します。神功皇后に下った「熊襲（くまそ）よりももっと重要な朝鮮半島の新羅を攻めよ・・・」とのご神託があったそうですが、まず国内の熊襲を鎮めようとした仲哀天皇に熊襲の矢が当たって戦死したと伝えられます。遺体は現在古宮跡の棺掛椎（かんかけのしい）に立てかけられました。するといいにおいがしてきたと言うのが、香椎の語源と言われています。その後、武内宿禰（たけのうちのすくね）により、かつて応神天皇と関係が深かった下関の豊浦宮で祭られました。この武内宿禰という人は不思議な人で、第 8 代孝元天皇の曾孫で、景行・成務・仲哀・応神・仁徳の 5 朝に仕え、大臣となり、神功皇后を助けて新羅出兵などに功績があったと言われています。この通りだと、300 年位生きていたことになります。どうしてそのように長生きできるのかというと、香椎宮の北方 300m に「不老水」という井戸があります。ここから湧き出る水を飲んでみると、長生きできるそうです。現在も、飲むことができます。



このお水を飲めばあなたも長生きできるかもしれませぬ



日本には日本 3 大名水と呼ばれている名水があり、香椎宮の不老水はその中に含まれています



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

